

未来へ

No one left behind

湯前
湯前中通信
R4.6.10
文責 新川



湯前中ホームページ



幸野溝を越えて

朝の登校時、正門（青雲橋）の交差点で、交通指導とあいさつ指導を行っています。小学生や中学生のあいさつする姿に「今日も元気だな」「元気無いな。だいじょうぶ？」など、児童生徒のその日の様子を観察できます。

私の立っている場所と反対の夕陽橋から校内に入ってくる生徒との間には、幸野溝があり、あいさつしても声が届かないかもしれないという微妙な距離があります。私の姿を見て、会釈だけする生徒もいれば、私の姿に気付かない生徒もいます。私も一定の距離があることを認め、自分からあいさつを届けていませんでした。

しかし、今年は、幸野溝を越えて元気なあいさつが響いています。男子生徒（1年 久保田蓮さん・石井進太郎さん）が、大きな声で、「おはようございます！」とあいさつを届けてくれます。うれしくて、私も負けずに「おはようございます」とあいさつします。すっきりとした気分が一日が始まります。あいさつしても届かないと限界を決めるのではなく、届けようとする「伝える力」を身に付けていくことが大切だということに改めて気付かされました。

お願い

◆給食における衛生管理として、生徒が使用した給食エプロンの洗濯をご家庭にお願いしています。ご協力に感謝します。ただ、洗濯の具合によっては、芳香剤（柔軟剤）の臭いが残っている場合があります。臭いに過敏に反応する生徒もおり、配慮が必要です。ご家庭におかれましては、給食エプロンの洗濯時に、芳香剤を使用しない等のご配慮をいただきますようお願いいたします。

◆1学期も折り返しの時期ですが、6月の中体連大会、7月の3年修学旅行を控え、学校では、新型コロナウイルスの感染防止について、高いリスクレベルでの対応を維持していく必要があります。

特に、朝の健康観察カードの提出は、学校における水際対策として十分に機能を果たしています。今後とも、ご家庭における検温、健康観察等、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

